

日時：平成31年2月7日（水）

15：00～17：00

場所：岐阜市役所 八ツ寺別館 2-A会議室

出席：計55名（別紙名簿参照）

テーマ・・・医療的ケア児への支援について

医療的ケアが必要な障がい児（医療的ケア児）の身体状況を理解し、またご家族の声を聴き、実際に行っている支援、必要な支援等の状況を共有し、保健、医療、福祉、教育の分野それぞれの役割を確認するとともに医療的ケア児への支援の充実に向け、関係機関の連携体制等について検討する機会として開催。

<第1部 講演会>

「医療的ケアを必要とする子どもやてんかんのある子どもの
身体の理解と関わり方のポイント」

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター看護部長

小児看護専門看護師 遠渡 絹代氏

重度心身障害児や医療的ケアが必要な子どもの身体や関わり方、てんかんの病状等、また家族への支援について理解を深めた。

<第2部 発表および意見交換>

・座長 岐阜県立看護大学 育成期看護領域 准教授 山本 真実氏

・岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター看護部長

小児看護専門看護師 遠渡 絹代氏

・岩砂訪問看護ステーション 管理者 郡上 晶子氏

「岩砂訪問看護ステーションにおける重症心身障害児（者）訪問のあゆみ」

訪問看護事業所として重度心身障害児の支援をはじめた経緯や訪問看護師の1日の支援状況、児や家族への支援内容等について紹介。

・岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 養護教諭 永田 満依子氏

「本校の医療的ケアの実際」

学校での医療的ケアの状況、学校内や家族、医療、福祉等関係機関との連携状況等について紹介。

・くらしケア介護障がい相談センター 相談支援専門員 永井 知子氏

「医療的ケア児の支援について」

相談支援専門員の役割、医療的ケア児やその家族が抱えている課題等について説明。実際に行っている支援や医療、教育、福祉等関係機関で連携して支援している状況を紹介。

(まとめ)

重度心身障害児や医療的ケアが必要な子どもの身体や関わり方、てんかんの病状等について理解を深めた。各専門分野が医療的ケア児や家族へ行っている実際の支援や必要時、情報交換や会議等行っている状況を共有した。お子さんの体調不良のため、当日登壇予定であった当事者のご家族は欠席されたが、動画や原稿代読にて、児の状況や必要な支援について理解を深めることができた。医療・保健・福祉・教育等各専門分野がそれぞれの役割を理解し、連携を強化して今後の支援に生かしていきたい。

【当日の様子】

